



令和3年度横浜市指定・登録文化財展／浄土の庭―称名寺境内国史跡指定100年― 展覧会開催・関係者向け内覧会のお知らせ

横浜市歴史博物館では12月4日から、令和3年度に指定された文化財の速報展示と、令和4年に横浜市が管理する国指定史跡称名寺境内が指定100年の節目を迎えることを記念し、称名寺境内史跡指定の歩みを紹介する「浄土の庭―称名寺境内国史跡指定100年―」の2つの展覧会を同時開催いたします。

展覧会概要

- 【会 期】令和3年12月4日(土)～令和4年1月10日(月・祝)
【開館時間】9時～16時30分(券売は16時まで)
【休 館 日】月曜日(祝日の場合は翌日)、12月27日～1月4日
【会 場】横浜市歴史博物館 企画展示室
【主 催】(公財)横浜市ふるさと歴史財団、横浜市教育委員会
【観 覧 料】一般500円、高校・大学生300円、小・中学生・横浜市内在住65歳以上100円



●令和3年度横浜市指定・登録文化財展

横浜市は、横浜市文化財保護条例に基づき、市域の歴史や文化、自然を理解するうえで重要な価値をもつ様々な文化財を指定・登録し、その保存・活用を行っています。その取組の一つとして、本展では、令和3年度に新たに有形民俗文化財に指定された「奉納杓子^{ほうのうしやくし}」(小児の百日咳除けの祈願としてオシャモジサマとよばれる小祠に奉納された杓子)の速報展示、同時開催する「浄土の庭―称名寺境内国史跡指定100年―」展にちなみ、平成8年度に横浜市指定文化財として指定された平安時代の浄土信仰と関係の深い紺紙金字法華経^{こんしきんじほけきょう}を展示します。

●浄土の庭―称名寺境内国史跡指定100年―

称名寺境内(金沢区)は、大正11年に国の史跡に指定されました。令和4年には、指定から100年の節目を迎えます。称名寺は、鎌倉幕府の重職を担った金沢北条氏の菩提寺であり、「称名寺絵図」にみる一大伽藍は14世紀の初め頃に完成したとされています。反橋・平橋の架けられた阿字ヶ池を中心とする浄土庭園は、背後の三山とあいまって、称名寺を特徴づける景観となっており、本展では称名寺境内の史跡指定の歩みを伝えるとともに、称名寺の造営に結実した浄土思想について、金沢北条氏の盛衰とともに紹介します。

報道関係者向け内覧会のおしらせ

一般公開に先立ち開催前日の12月3日(金)14時から報道関係者向けに内覧会を開催します。担当学芸員が展覧会の見どころをご案内いたします。

お問合せ先

横浜市歴史博物館 副館長：井上攻 学芸員：柳沼千枝 広報担当：田中幸加

TEL045-912-7777

*画像データをご要望の場合は広報担当までご連絡ください。